

# 国際女性デーをご存じですか？

## 国際女性デーとは

女性が社会のあらゆる分野で平等な権利と機会を得るために、世界中で声を上げ、行動を起こす日です。歴史的に、女性は男性と比べて教育や雇用、政治参加の機会が制限されてきました。しかし、女性たちの長年の努力と闘いによって、状況は少しずつ変化しています。多くの国で女性参政権が認められ、職場での男女平等が求められるようになりました。

2025年のテーマは「すべての女性と少女のために：権利、平等、エンパワメントを」でエンパワメントとは、力や権限を与えること、力をつけさせることを意味します。

## なぜ、3月8日？

1904年3月8日にアメリカのニューヨークで女性労働者が参政権を求めてデモを起こしたことに由来します。アメリカでは、1920年に女性参政権が認められました。

## シンボルはミモザの花

イタリアでは国際女性デーを「ミモザの日」と呼んで、男性が日々の感謝の意を込めて、女性に美しいミモザの花を贈る日として知られています。

## さまざまな課題

世界には、いまだに女性に対する差別や暴力、貧困が根強く残る地域があります。貧困のために教育を受けられず労働を余儀なくされる子どももたくさんいます。また先進国においても、女性が家庭と仕事の両立に苦勞したり、賃金格差に直面したりするなど、課題は多岐にわたります。特に日本は、2024年のジェンダーギャップ指数(※)が146か国中118位と先進7か国で最下位となっています。

国際女性デーは、こうした状況を改善し、より平等な社会を実現するために、私たち一人ひとりができることを考えるきっかけとなります

※ジェンダーギャップ指数：世界経済フォーラムが毎年発表している男女格差を数値化したもの

## 私たちができること

- ジェンダー平等について学ぶ 本を読んだり、講演会やワークショップに参加したりして、ジェンダー平等について学びを深めましょう。
- 周囲の人々に声を掛ける 家族や友人、同僚など、身近な人にジェンダー平等について話し、考えを共有しましょう。

## 自分らしく暮らせる社会を

一方で、11月19日は「国際男性デー」です。1999年にカリブ海の島国トリニダード・トバゴで始まったとされ、男性や男の子の健康に目を向け、ジェンダー平等を促すことを目的とした日です。

国際女性デーと国際男性デーに共通するのは、ジェンダー平等の実現を目的とした記念日だということです。性別に関わらず、平等に責任や権利、機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくことで、誰もが自分らしく暮らしていける社会を目指しましょう。

# 岡本彌太文学賞表彰 第24回 最優秀作品のご紹介



俳句部門 中学生の部  
まみずま 美羽  
岡山美羽(野市中2年)

部活後の冷たい水浴び生きかえる



俳句部門 小学生の部  
たなか 瑠丸  
田中琉丸(野市小6年)

夏休み家の手伝いがんばるぞ



詩部門 小学生の部  
やすおか たかひろ  
安岡高広(野市東小3年)

「お母さんがだっぴ？」

お母さんがこのごろ  
だっぴしている  
先生に話すとびっくりしていた  
だっぴは手の真ん中だ  
その手でさわられると  
さらさらで  
すぐくいたい  
こん虫のだっぴに見える  
同じ人間でも  
ちがうんだな  
ぼくはだっぴをしないのにお母さんのだっぴには  
本当におどろいた  
だっぴするのは  
きせつのもんちらへんだ  
今はちやうどだっぴのきせつ  
ぶじにだっぴするといいな



詩部門 中学生の部  
こた 悠晴  
小田悠晴(香我美中1年)

「消しゴムの人生」

僕はどんどん小さくなっていく  
大きくなっていく君を見て  
この先 見届けられないだろうけど  
君の人生の間違いを  
まっさらにしていく  
僕の人生がある限り  
自分の身を削りながら頑張ってるよ  
だからさ 最期  
ゴミ箱に入る瞬間まで  
見送ってよ

1月25日(土)赤岡町弁天座で第24回岡本彌太文学賞表彰式が行われました。

市内小中学校から、各部門(詩・俳句)合わせて1,641点の応募があり、77点が入選しました。

■生涯学習課 50-3022